

スーパーライザー（近赤外線治療）

「スーパーライザー」は、光の中で最も生体深達性の高い波長帯の近赤外線（0.6nm～1.6nm）を高出力でスポット状に照射できる光線治療器です。

その効果はペインクリニックをはじめ各科で認められ、医療現場で幅広く使われています。半導体レーザーのような単一波長ではなく、幅広い波長帯を有する複合波長であるため、深い患部まで確実に到達し、心地よい温感とともに複数の波長帯に係る生体効果が期待できます。

■スーパーライザー PX



パルス照射を採用することで、従来の2.2Wを格段に上回る最高10Wの最高出力を実現しました。

これにより生体深達性をさらに高めるとともに、治療時間を短縮。

しかも、高出力で照射範囲が広がるためより簡単に近赤外線療法が行えるようになりました。

■スーパーライザー HA-2200



- ・ 最高2200mwの高出力
- ・ 見やすい大型LED表示
- ・ 連続、サイクル、Pミックス、Tミックスの選べる4つの照射モード
- ・ 往診などの際に、本体を取り外し、持ち運ぶことも可能です。